

# 夢窓幼稚園通信第45号

2022年 10月 31日

最近 手元のノートに「見直し」とタイトルを付けて、思いついたことをメモしました。

ふと思いついたことを思うにまかせて書きとめるノートなのですが、その時は「未来の時のために大切なことは何？」と自分に問いかけたのだらうと思います。

「見直し」の作業が何段階か記されているのですが、その一番目は「先ず 現状の確かめ」でした。そして具体的には「あいさつ・笑顔(表情)・そうじ・時間…等基本的なこと」を通して確かめるようにと私自身が私に求めているのです。

そんな風に書き記したからなのか、よく分かりませんがこの一週間何だかやりたくなって始めたことがふたつあります。ひとつは「気がついてできるときは、たたき(靴を履きかえる土間)を掃いて砂を落としてすっきりすること」で、ふたつ目は「お茶会」です。

砂のなれたたたきは気持ちがいいと思います。庭から戻ってきて部屋に戻ろうと外靴を脱ぐ時も、庭に遊びに出ようと靴を履く時も、きれいなたたきの方が子どもたちも心地がいいに違いありません。

ついでに余裕のある時はくつ箱の下の廊下や周りも、ちょいちょいと掃きたくったり…で面白いなと思いました。

もうひとつの「お茶会」は、2学期の始まりの頃にお伝えした保育時間中の「子どもも大人もティータイム」の序章です。

庭の「さくらゆめテラス」や「デッキの段」に座ってぼんやりほわっとしていると、声がかかったり隣に座ってくる子がいたりしてのどかなおしゃべりが始まります。のどを潤おそうとポケットから小さな水筒を出して「いっしょにおちゃでものもうか！」と誘うと自分の水筒を取りに戻り帰ってくるとティータイムです。

ゆっくり ゆったりから、やわらかい言葉がいっぱい生まれてきます…

別の日「なかよし」の時間に箒を持って庭を掃除している3人の子の姿を見つけました。

自由あそびからクラスの集まりに移るとき仲間たちがたのしそうにお茶を飲んでる風景にも出会いました。

「見直し」のふたつ目の段階は「こんなことしたい！こんな風でありたい！を思い描く」です。

見直しから未来が生まれきたらいいな…と思っています。

園長 升光 泰雄